

## 下水道管理経営検討会における検討について

### 1. 背景・目的

下水道整備の進展により下水道ストックの蓄積が進む中、継続的な下水道事業を実現するためには、適正な維持管理及び健全な下水道経営を行うことが、これまで以上に重要となってきた。

特に、組織体制、財政基盤が比較的脆弱な中小市町村においては、維持管理に必要な人員や財源の確保など多くの課題を抱えており、今後とも下水道が継続的にその機能を果たしていくためには、地方公共団体の実態を踏まえた適正な維持管理と健全な下水道経営のあり方を示すことが喫緊の課題となっている。

このためには、計画・建設段階も含めた事業全体を踏まえて維持管理と経営のあり方を検討する必要がある。検討に当たっては、実態を踏まえた検討を行うことが重要であり、事業主体である地方公共団体を中心とした検討会を設置し、地方公共団体における管理経営に関する実態把握と課題の抽出及びその解決策について検討を行い、計画小委員会のとりまとめに資することとする。

### 2. 検討事項

- (1) 地方公共団体における管理経営の実態把握と課題の抽出
- (2) 事業の各段階における具体の解決策の整理
  - ・維持管理の効率化
  - ・安定的な収入の確保 等

### 3. 検討会メンバー

検討会は、都道府県、大都市、中核都市、中小市町村の代表及び国土交通省より構成する。

必要に応じて、維持管理を受託している民間業者の代表等に対し、検討会の場でヒアリングを行う。

### 4. 検討スケジュール

平成18年11月	第1回	管理経営の実態把握と課題の抽出
12月	第2回	事業の各段階における具体の解決策の整理
19年1月	第3回	検討結果のとりまとめ